



1. 文化オリンピックアードの認証の状況 (12月5日時点)

| | 公認文化オリンピックアード | 応援文化オリンピックアード |
|---------|--|--|
| マーク |  |  |
| 認証件数 | 52件(19団体) | 23件(13団体) |
| 件数の多い団体 | <ul style="list-style-type: none"> ①文化庁(18件) ②千葉県(5件) ③埼玉県(4件) ③神奈川県(4件) | <ul style="list-style-type: none"> ①京都府(5件) ②石川県(3件) ③(公財)東京都歴史文化財団(2件) ③(公財)日本芸能実演家団体協議会 (2件) |
| 主な事業 | <ul style="list-style-type: none"> ● 文化芸術資源で未来をつくる～輝き続ける日本へ～(文化庁) ● 東京キャラバン in 六本木(東京都) ● TURN(東京都) ● 1万人のゴールド・シアター(埼玉県) | <ul style="list-style-type: none"> ● 障がい者アートフェスタ2016(鳥取県) ● リオから東京へ～上を向いて歩こう オーリヤ・プロ・セウ～東京公演(国際交流基金) ● 能楽フェスティバル2017-2020 ～1964年「オリンピック能楽祭」を想う～(日本芸能実演家団体協議会) |

2. 直近の事業実績例 (1万人のゴールド・シアター2016 : 埼玉県)

【2016年12月7日 : さいたまスーパーアリーナ】 (東京2020公認文化オリンピックアード)

- 彩の国さいたま芸術劇場芸術監督・蜷川幸雄の発案で2006年に発足し、今年、平均年齢が77歳になる高齢者演劇集団「さいたまゴールド・シアター」
- 埼玉県と埼玉県芸術文化振興財団が共同で取り組む前代未聞の演劇企画で、一般参加の高齢者と「さいたまゴールド・シアター」との共演による、1万人規模の大群集劇の上演を目指す



さいたまゴールド・シアター稽古風景
(2007年・蜷川氏と団員たち 宮川舞子撮影)



「1万人のゴールド・シアター2016」舞台写真
(2016年12月7日・さいたまスーパーアリーナ 宮川舞子撮影)

2016年は、キックオフ・イヤー。「1万人のゴールド・シアター2016」と銘打ち、蜷川幸雄氏の企画・原案に基づき開催。

出演者 約1,600人
観衆 約8,000人